

「日本アクセスの社会課題解決～物流問題編～」

取り組み活動の紹介動画を公開

株式会社日本アクセス（所在地：東京都品川区、代表取締役社長 社長執行役員 CEO：服部 真也、以下：当社）は、「日本アクセスの社会課題解決～物流問題編～」と題し、当社の本業を通じた社会課題解決活動を分かりやすく紹介する動画を作成し、公開しました。

日本全体で長期にわたり続く少子高齢化・生産年齢人口減少と、それに伴う深刻な人材不足問題。特に2024年4月から時間外労働の上限規制が適用されることで予測される『トラックドライバー不足』は『2024年問題』として早急に対策すべき喫緊の課題となっています。

当社は2020年にSDGs宣言を行い、経営の一環として「本業を通じた社会課題解決」を行うことを社内外に示しました。当社の中核事業である「ロジスティクス」において深く関連する、このドライバー不足問題に積極的に取り組むことは、当社として重要な社会的責任であると認識しています。

この動画では、ドライバー不足問題の解決に資する具体策、①フローズンマザー物流センターにおける「パレチゼーション」推進、②トラックに動態管理端末を設置しGPSを利用した配送実態の見える化および車両運行の最適化について、内容や成果を分かりやすくまとめました(約7分)。短時間のため、紹介した内容はごく一部になりますが、ステークホルダーの皆様にも少しでも当社の活動をご理解いただく機会になれば幸いです。

■「日本アクセスの社会課題解決～物流問題編～」動画視聴は[こちら](#)



以上